

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 6, 7 セメスター	小児看護学実習	塩飽 仁	必修	2
授業題目	子どもの看護の実際			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p><u>概要</u> 子どもと家族の総合的理解と援助過程に、小児看護学で学習した知識・理論および技術を適用し、看護診断と看護援助の実際および小児保健医療チームにおける看護職者の役割を体験的に学習します。</p> <p><u>目的</u> 1. 各期の子どもの成長発達段階について理解を深め、個々の成長発達段階に応じた看護援助に必要な知識、技術、態度を学ぶ。 2. 健康障害が子どもおよび家族に及ぼす影響について学ぶ。 3. 病気や障害を持つ子どもを個別的に理解し、知識と技術を統合して、根拠に基づいた看護実践できる能力を養う。 4. 小児看護の特徴と小児医療チームにおける小児看護専門職者の役割と責任について学ぶ。</p> <p><u>到達目標</u> 1. 子どもの成長発達を理解し、それらに影響を与える諸因子を多角的にとらえることができる。 2. 病気や障害、医療行為が子どもに及ぼす影響を理解できる。 3. 小児医療チームにおける小児看護専門職者の役割と責任について理解できる。 4. 子どもをとりまく危険因子をとらえ、安全確保のため適切に対処できる。 5. 子どもを的確に観察して判断し、看護実践に反映することができる。 6. 子どもの各成長発達段階におけるセルフケア確立のために援助できる。 7. 家族がかかえる問題を理解し援助、指導できる。 8. 子どもの成長発達は心身両面にわたって個人差があることを理解し、人格や権利を尊重する看護を實踐できる。 9. 子どもや家族の総合的理解に基づく看護過程を通して、QOL の維持・向上を目指した看護を實踐し評価できる。</p>				
授業計画				
<p>1. 病院実習 東北大学病院新西5階病棟に入院中の子どもを受け持ち、1週間実習を行う。 病院実習には院内学級見学など病院内関連部門の見学を含む。</p> <p>2. 保育所実習 泉チェリー保育園、あさひの森保育園、菜の花保育園（東北公済病院）で2日間実習を行う。</p> <p>3. 施設見学実習 宮城県立こども病院等を見学実習し、子どもの療育環境、地域や職種との連携・協働について知見を深める。</p>				
成績評価の方法及び基準				
<p>最終的な成績評価は、出席、実習内容、実習レポートをもとに総合的に行う。 (出席点は20%、実習内容+実習レポートは80%とする)</p>				
教科書・参考書				
<p>特に指定しない。</p>				